

## 森田殿のモミ（未指定）

所在地：庄原市東城町森

指定年月日：未指定

所有者：不明

根回り周囲：5.90m

胸高 幹囲：4.50m

樹 高：約 40m

モミは、マツ科モミ属の常緑針葉樹である。日本のモミ属中、最も温暖地に分布し、その北端は秋田県、南端は屋久島である。樹高は 40m にも達するものもある。モミ属は、全般に樹皮が白っぽい灰色のものが多いが、モミの樹皮は、かなり茶色がかっている。

日本のモミ属の中にあっては最も葉が大きくて堅く、若枝には軟毛が生える。葉は細くて固い針状で、先端は二叉で鋭く尖るが、老木では先の丸まった葉をつける。球果は 10~15cm 大柄で、はじめ緑色、10 月頃成熟すると灰褐色になる。成熟すると鱗片が脱落するので、松かさのようにそのままの姿で落下することはない。

本樹は共同墓地の一角に位置していることから、田殿地域で大切に保護され今日まで残されてきたものと思われる。

